

2010.06.21 18:30～ (北海道大学原子核理論研究室)

### 1: 出席者

加藤<sup>a</sup>・木村<sup>b</sup>・千葉・松本<sup>cd</sup>・牧永<sup>c</sup>・椿原<sup>c</sup>・Ichinkhorloo<sup>c</sup>・吉田<sup>c</sup>  
(a:委員長, b:議長, c:オブザーバー, d:書記)

### 2: 報告

- E062を送信、E063の送信準備中。
- NRDF、EXFORのマスター更新を行った。
- NRDF/A 2009年度分を公開した。
- E062、K006、K007の送信連絡を行った。
- 理研プログレスレポート送信完了。
- Neff氏が9月5日から10月13日に来札。
- アジア-アフリカ学術拠点形成プロジェクト申請案が確定した。
- D.Meyer氏が来札予定(7月5日～13日)この間にワークショップを7月7日に計画。
- モンゴル国立大学原子核研究センターと理学研究院との研究協力協定締結の作業が行われている。

### 3: 議題

- アジアアフリカ学術拠点形成プロジェクトのワークショップへ向けて、事務局を発足させる
  - 当面の事務局メンバーは、加藤、吉田、椿原。
- 助言委員の方への採録相談について。
  - 現在採録されていない物理量について、今後採録するかどうかを助言委員に相談したい。
  - 助言委員([jcprg-ac@jcprg.org](mailto:jcprg-ac@jcprg.org))にメールで問い合わせる。回答が一週間以内に来ない場合は採録しない。
- 2009年度分の年次報告書原稿を作成計画。(編集委員:平林・片山・加藤)
  1. 巻頭言(大塚氏に依頼) 2 ページ
  2. IAEA センター会議報告(古立・Ichinkhorloo) 5 ページ
  3. インドコーディング会議報告(牧永) 5 ページ
  4. GSYS の解説(鈴木氏) ← 依頼(牧永)
  5. XML について(松本) 5 ページ
  6. NRDF/A (古立・牧永・加藤) ページ数未定
  7. 2009 年度辞書作業部会 (NTX-WG) 報告 (浅野) 12 ページ → 完了
  8. 2009 年度に JCPRG から配信された EXFOR ファイル (古立) 11 ページ
  9. 2009 年度に JCPRG から配信された CINDA ファイル (古立・牧永) 5 ページ
  10. 2009 年核反応データセンター長会議報告 + Progress report (古立) 10 ページ
  11. 資料: 2009 年度入力データ (吉田・加藤) 12 ページ

資料: 2009 年度の活動日誌 (NRDF 管理運営委員会議事録) 16 ページ

資料:略語一覧 1 ページ

12.日本荷電粒子核反応データグループ (JCPRG) 1 ページ

13.研究者のみなさまへのお願い 1 ページ

締め切りは 6 月末。

- 理研との研究協力について。
  - Mini-workshop 開催
    - 予定: 7 月第三週目(7/12-19)
    - 内容: 理研のデータをどうするか。未投稿のデータ。  
核構造データとの関連性について
- D. Mayer 氏とのワークショップ(7 月 7 日)での報告内容。(加藤)
  - 核データ全体の報告 (加藤)
  - NRDF/A の報告 (牧永)

次回開催予定日時 2010 年 7 月 23 日(金) 18 時 30 分～

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室